

万国の労働者、被抑圧民族団結せよ！

社共にかわる革命的労働者党を創建しよう！

1985年 10月25日

毎月10日、25日発行

第82号 4頁 150円

定期購読料（1部22回）  
手渡し 3000円／開封 3500円／密封 4000円

# 赫旗

共産主義者同盟中央機関紙

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

発行  
赤路社

東京都下谷郵便局私書箱 180号  
電話 (03) 349-8598 東京7-86947  
編集・発行人 北沢 晋  
関西赤路社  
大阪市福島区大開1-19-13  
副島ビル 電話(06)462-7030

## 11・10三里塚現地へ



中曾根自民党政は、目前に迫つて成田用水事業の辺田・中郷地区への着工を導水路として、いよいよ三里塚二期工事の本格着手に踏み出そうとしている。彼らは八月二十六日に発表された「第五次空港整備5ヶ年計画」の中で、一九九〇年までにBC滑走路と第二ターミナルビルの供用を開始すると公然と宣言し、また同時に運輸省の八六年度概算要求に今年度比十五%増二九二億円の空港建設事業費を盛り込んでいます。

三里塚闘争は成田用水辺田・中郷着工阻止の闘いをもつて「空港完成・安定供与」か「二期阻止・空港廃止」かを巡る日本帝国主義と、反対同盟農民を先頭とした日本労働者階級人民との決戦に突入する。

この闘いはまた、日本帝国主義の戦争遂行国家の構築との正面切った対決となる。防衛費の対GN

P比1%枠突破や中曾根の靖国公式参拝・国鉄分割民営化による国鐵労働運動の解体攻撃など帝国主義戦争準備は國家・社会の総体を貫いて進行している。関西新空港の着工や三里塚二期を打ち出した

「五空港」も民間空港の軍事への転用をにらんだ、日本列島不沈空母化の一環である点をしっかりと押さえておかなくてはならない。

侵略反革命軍事空港の建設に對決し、全国の諸人民闘争の大結合環を守り抜いて日本帝国主義との八〇年代中期における最初の大戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならぬ。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

今秋三里塚闘争はまず成田用水辺田・中郷着工阻止闘争として火蓋を切る。千葉県・用水推進派は強制し、夏の間にも着工しようと目論んでいたが、推進派の圧力をはねのけた反対同盟・地権者の闘いにより今日に至るも着工ができない。しかし焦りにかられただ彼らは逆に反動性を増して反対同盟への説教を強め、それと連動して警察権力は、九・二九集会における大量逮捕・逮捕時のテロ・リンチに見られるように大弾圧によって闘いを押ししつぶそうと躍起になっている。

これら的一切をはねのけ、昨年東地区への着工と闘った一週間にわたる闘いを引き継ぎ、それを上

全国の同志諸君！ 闘いの秋は來た！ 防衛費1%ワク突破、靖国公式参拝、国家秘密法上程等、中曾根自民党政は、戦争遂行体制構築に向けた策動を強めている。労働者階級人民は、ブルジョア政府の番大機動隊の蛮行を撲滅け、日本列島不沈空母化攻撃を粉碎すべく、三里塚二期決戦に総力決起せよ！

中曾根自民党政は、目前に迫つて成田用水事業の辺田・中郷地区への着工を導水路として、いよいよ三里塚二期工事の本格着手に踏み出そうとしている。彼らは八月二十六日に発表された「第五次空港整備5ヶ年計画」の中で、一九九〇年までにBC滑走路と第二ターミナルビルの供用を開始すると公然と宣言し、また同時に運輸省の八六年度概算要求に今年度比十五%増二九二億円の空港建設事業費を盛り込んでいます。

三里塚闘争は成田用水辺田・中郷着工阻止の闘いをもつて「空港完成・安定供与」か「二期阻止・空港廃止」かを巡る日本帝国主義と、反対同盟農民を先頭とした日本労働者階級人民との決戦に突入する。

この闘いはまた、日本帝国主義の戦争遂行国家の構築との正面切った対決となる。防衛費の対GN

P比1%枠突破や中曾根の靖国公式参拝・国鉄分割民営化による国鐵労働運動の解体攻撃など帝国主義戦争準備は國家・社会の総体を貫いて進行している。関西新空港の着工や三里塚二期を打ち出した

「五空港」も民間空港の軍事への転用をにらんだ、日本列島不沈空母化の一環である点をしっかりと押さえておかなくてはならない。

侵略反革命軍事空港の建設に對決し、全国の諸人民闘争の大結合環を守り抜いて日本帝国主義との八〇年代中期における最初の大戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならぬ。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

今秋三里塚闘争はまず成田用水辺田・中郷着工阻止闘争として火蓋を切る。千葉県・用水推進派は強制し、夏の間にも着工しようとしたが、推進派の圧力をはねのけた反対同盟・地権者の闘いにより今日に至るも着工ができない。しかし焦りにかられただ彼らは逆に反動性を増して反対

同盟への説教を強め、それと連動して警察権力は、九・二九集会における大量逮捕・逮捕時のテロ・リンチに見られるように大弾圧によって闘いを押ししつぶそうと躍起になっている。

これら的一切をはねのけ、昨年東地区への着工と闘った一週間にわたる闘いを引き継ぎ、それを上

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

成田用水着工阻止闘争を闘い抜き、反対同盟と全国の三里塚勢力の力を敵にいやといふほどたきつけていくことは、予算化された同盟を支える大きな力となつていい。

成田用水着工阻止闘争を勝利に導く前衛たらんとするわが共産主義者が農業を提起した根拠を捉え返し、もたれ合いや相互利用を排した團結の形成に力を傾していくことが重要である。

また、日本革命を勝利に導く前会戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならない。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

成田用水着工阻止闘争を闘い抜き、反対同盟と全国の三里塚勢力の力を敵にいやといふほどたきつけていくことは、予算化された同盟を支える大きな力となつていい。

成田用水着工阻止闘争を勝利に導く前衛たらんとするわが共産主義者が農業を提起した根拠を捉え返し、もたれ合いや相互利用を排した團結の形成に力を傾していくことが重要である。

また、日本革命を勝利に導く前会戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならない。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

成田用水着工阻止闘争を勝利に導く前衛たらんとするわが共産主義者が農業を提起した根拠を捉え返し、もたれ合いや相互利用を排した團結の形成に力を傾していくことが重要である。

また、日本革命を勝利に導く前会戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならない。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

成田用水着工阻止闘争を勝利に導く前衛たらんとするわが共産主義者が農業を提起した根拠を捉え返し、もたれ合いや相互利用を排した團結の形成に力を傾していくことが重要である。

また、日本革命を勝利に導く前会戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならない。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

成田用水着工阻止闘争を勝利に導く前衛たらんとするわが共産主義者が農業を提起した根拠を捉え返し、もたれ合いや相互利用を排した團結の形成に力を傾していくことが重要である。

また、日本革命を勝利に導く前会戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならない。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党への形成と飛躍は有り得ない。

成田用水着工阻止闘争を勝利に導く前衛たらんとするわが共産主義者が農業を提起した根拠を捉え返し、もたれ合いや相互利用を排した團結の形成に力を傾いでいる。

また、日本革命を勝利に導く前会戦に勝利せねばならない。そのためには階級的労働運動の隊伍が広範に決起し、反対同盟農民と固く團結して闘いの中軸を担つていかなければならない。

これは、言い換れば、労働者階級が全人民の中における指導階級として、その指導能力を自らつた対決となる。防衛費の対GN

の力がいかに小さなものであろうとも、この闘いを回避して全人民武裝蜂起を指導する党

# 日雇全協

## 三回大会成功す



写真は西戸組と対峙する日雇全協・山谷争議団

午前十時半、大会成立宣言が高らかに発せられ、大会議長団が選出された後、壇上正面に掲げられた佐藤満夫・川瀬誠治・船本洲治・鈴木国男各氏四名の戦士の遺影に黙禱がささげられ、遺志を受け継ぐ追悼の決意が明らかにされた。

次に各戦線からのアピールが、横浜「浮浪者」差別虐殺糾弾実行委員長、神奈川五大学共闘からあつた。さらに、病床から寿矢田支部・釜ヶ崎反差別連絡会議代表の西岡智氏、京都東九条生活と人権を守る会、泉州沖に空港をつくらせない泉州住民連絡会、全

九月二十三日、神奈川労働会館で、日雇全協三回大会が開催され、福岡日雇労組(準)を始め、約一五〇名が結集した。

午前十時半、大会成立宣言が高らかに発せられ、大会議長団が選出された後、壇上正面に掲げられた佐藤満夫・川瀬誠治・船本洲治・鈴木国男各氏四名の戦士の遺影に黙禱がささげられ、遺志を受け継ぐ追悼の決意が明らかにされた。

金桜井鉄工支部、三里塚反対同盟熱田派・北原派、沖縄解放共闘からのアピール文が代読された。特別アピールに移り、指紋押捺拒否闘争に決起している笹日労組合員、権政河・全南斐(准)の両氏から、この闘いを日帝の戦前三十六年の朝鮮植民地支配そのものから糾弾し闘つていく決意が表明され、次に、

対西戸組(金町)報復戦闘十二・二四被弾者三名の代表者アピールに続き、福岡・築港の寄せ場で福岡支部づくりを進めている福日労(準)代表の大戸氏から力強いアピールがなされた。日雇全協国際部による渡韓報告アピールの代読を最後に午前の議事が終了。

午後からの議事は、在日高麗労働者連盟からの電報報告から再開された。そして、映画・山谷製作上映実より、佐藤さん虐殺一ヶ年の十二月二十二日に映画実戦と公開を果たす決意が述べられ、次に、船本遺稿集出版などの全協事業報

告がなされた後、議事は、三回大會方針を確認する大会基調報告に移った。今大会の特徴として、大會議案が、基調報告の形式で、その活動報告・運動方針が提起され、拍手でこれが確認された。

基調確認の後、名古屋紳仁病院闘争、十二・二二佐藤さん虐殺一ヶ年闘争の特別提起、反天皇制運動連絡会の天野氏からのあいさつ、動連絡会の天野氏からのあいさつ、最後に、三回大会の新たな組織体制が確認され、風間竜次氏の日雇全協議長再選が確認された。

敵が前面に出ている時は強いか、敵が見えない時、全協は弱くなる。

したたかでおおらかな人民の団結を得たい」と、風間議長の三回大会の決意表明が行なわれたのに統いて、各支部代表の決意表明が述べられ、三回大会は、大会スローガンを確認し、響きわたるインターネットの声とともに勝利をもつて終了。

明朝二十四日、寿町センターで、雨天を突き、日雇全協の全国部隊は、大会報告集会を開き、三回大会の闘いの第一歩を開始した。

この様にして戦取された三回大会の意義を我々は次の通り確認すべきであろう。

第一に、八三年十一月以降われた、日帝の戦争遂行体制にむけた排外主義的寄せ場再編の先兵たる天皇主義右翼(西戸組)の武装敵対・虐殺テロを、日雇全協の全国体制で、大衆的実力闘争を軸とする大衆武装陣型で、これを打ち砕き、勝利的地位を打ち固め、三回大会が獲得されていること。

第二に、天皇主義右翼との全国

闘争を要にしつつ、山谷・釜ヶ崎を両軸に、手配師・人夫出し・飯場・求人業者層に対する春期闘争の高揚が組織され、反動的国策事務員と結びつく、山谷での「互助組合」策動を打ち破り、釜ヶ崎での労務供給体制再編による建設

独占の支配を覆えし、労働運動の大衆的基盤が打ち固められていること。

第三に、日雇全協の全国工作任務が、福岡支部づくりの前進として、結果し、四大寄せ場を戦略拠点として、全国の日雇・下層労働者組織化の任務を果たす橋頭堡に続き、福岡・築港の寄せ場で福岡支部づくりを進めている福日労(準)代表の大戸氏から力強いアピールがなされた。日雇全協国際部による渡韓報告アピールの代読を最後に午前の議事が終了。

午後からの議事は、在日高麗労働者連盟からの電報報告から再開された。そして、映画・山谷製作上映実より、佐藤さん虐殺一ヶ年の十二月二十二日に映画実戦と公開を果たす決意が述べられ、次に、船本遺稿集出版などの全協事業報

告がなされた後、議事は、三回大會方針を確認する大会基調報告に移った。今大会の特徴として、大會議案が、基調報告の形式で、その活動報告・運動方針が提起され、拍手でこれが確認された。

基調確認の後、名古屋紳仁病院闘争、十二・二二佐藤さん虐殺一ヶ年闘争の特別提起、反天皇制運動連絡会の天野氏からのあいさつ、動連絡会の天野氏からのあいさつ、最後に、三回大会の新たな組織体制が確認され、風間竜次氏の日雇全協議長再選が確認された。

敵が前面に出ている時は強いか、

敵が見えない時、全協は弱くなる。

したたかでおおらかな人民の団結を得たい」と、風間議長の三回大会の決意表明が行なわれたのに統いて、各支部代表の決意表明が述べられ、三回大会は、大会スローガンを確認し、響きわたるインターネットの声とともに勝利をもつて終了。

明朝二十四日、寿町センターで、

雨天を突き、日雇全協の全国部隊は、大会報告集会を開き、三回大会の闘いの第一歩を開始した。

この様にして戦取された三回大会の意義を我々は次の通り確認すべきであろう。

第一に、八三年十一月以降われた、日帝の戦争遂行体制にむけた排外主義的寄せ場再編の先兵たる天皇主義右翼(西戸組)の武

装敵対・虐殺テロを、日雇全協の全国体制で、大衆的実力闘争を軸とする大衆武装陣型で、これを打ち砕き、勝利的地位を打ち固め、三回大会が獲得されていること。

第二に、天皇主義右翼との全国

闘争を要にしつつ、山谷・釜ヶ崎を両軸に、手配師・人夫出し・飯

場・求人業者層に対する春期闘争の高揚が組織され、反動的国策事務員と結びつく、山谷での「互

助組合」策動を打ち破り、釜ヶ崎での労務供給体制再編による建設

独占の支配を覆えし、労働運動の大衆的基盤が打ち固められていること。

第三に、日雇全協の全国工作任

務が、福岡支部づくりの前進として、結果し、四大寄せ場を戦略拠点として、全国の日雇・下層労働者組織化の任務を果たす橋頭堡に

に続き、福岡・築港の寄せ場で福岡支部づくりを進めている福日労(準)代表の大戸氏から力強いアピールがなされた。日雇全協国際部による渡韓報告アピールの代読を最後に午前の議事が終了。

午後からの議事は、在日高麗労働者連盟からの電報報告から再開された。そして、映画・山谷製作上映実より、佐藤さん虐殺一ヶ年の十二月二十二日に映画実戦と公開を果たす決意が述べられ、次に、船本遺稿集出版などの全協事業報

告がなされた後、議事は、三回大會方針を確認する大会基調報告に移った。今大会の特徴として、大會議案が、基調報告の形式で、その活動報告・運動方針が提起され、拍手でこれが確認された。

基調確認の後、名古屋紳仁病院闘争、十二・二二佐藤さん虐殺一ヶ年闘争の特別提起、反天皇制運動連絡会の天野氏からのあいさつ、動連絡会の天野氏からのあいさつ、最後に、三回大会の新たな組織体制が確認され、風間竜次氏の日雇全協議長再選が確認された。

敵が前面に出ている時は強いか、

敵が見えない時、全協は弱くなる。

したたかでおおらかな人民の団結を得たい」と、風間議長の三回大会の決意表明が行なわれたのに統いて、各支部代表の決意表明が述べられ、三回大会は、大会スローガンを確認し、響きわたるインターネットの声とともに勝利をもつて終了。

明朝二十四日、寿町センターで、

雨天を突き、日雇全協の全国部隊は、大会報告集会を開き、三回大会の闘いの第一歩を開始した。

この様にして戦取された三回大会の意義を我々は次の通り確認すべきであろう。

第一に、八三年十一月以降われた、日帝の戦争遂行体制にむけた排外主義的寄せ場再編の先兵たる天皇主義右翼(西戸組)の武

装敵対・虐殺テロを、日雇全協の全国体制で、大衆的実力闘争を軸とする大衆武装陣型で、これを打ち砕き、勝利的地位を打ち固め、三回大会が獲得されていること。

第二に、天皇主義右翼との全国

闘争を要にしつつ、山谷・釜ヶ崎を両軸に、手配師・人夫出し・飯

場・求人業者層に対する春期闘争の高揚が組織され、反動的国策事務員と結びつく、山谷での「互

助組合」策動を打ち破り、釜ヶ崎での労務供給体制再編による建設

独占の支配を覆えし、労働運動の大衆的基盤が打ち固められていること。

第三に、日雇全協の全国工作任

務が、福岡支部づくりの前進として、結果し、四大寄せ場を戦略拠点として、全国の日雇・下層労働者組織化の任務を果たす橋頭堡に

に続き、福岡・築港の寄せ場で福岡支部づくりを進めている福日労(準)代表の大戸氏から力強いアピールがなされた。日雇全協国際部による渡韓報告アピールの代読を最後に午前の議事が終了。

午後からの議事は、在日高麗労働者連盟からの電報報告から再開された。そして、映画・山谷製作上映実より、佐藤さん虐殺一ヶ年の十二月二十二日に映画実戦と公開を果たす決意が述べられ、次に、船本遺稿集出版などの全協事業報

告がなされた後、議事は、三回大會方針を確認する大会基調報告に移った。今大会の特徴として、大會議案が、基調報告の形式で、その活動報告・運動方針が提起され、拍手でこれが確認された。

基調確認の後、名古屋紳仁病院闘争、十二・二二佐藤さん虐殺一ヶ年闘争の特別提起、反天皇制運動連絡会の天野氏からのあいさつ、動連絡会の天野氏からのあいさつ、最後に、三回大会の新たな組織体制が確認され、風間竜次氏の日雇全協議長再選が確認された。

敵が前面に出ている時は強いか、

敵が見えない時、全協は弱くなる。

したたかでおおらかな人民の団結を得たい」と、風間議長の三回大会の決意表明が行なわれたのに統いて、各支部代表の決意表明が述べられ、三回大会は、大会スローガンを確認し、響きわたるインターネットの声とともに勝利をもつて終了。

明朝二十四日、寿町センターで、

雨天を突き、日雇全協の全国部隊は、大会報告集会を開き、三回大会の闘いの第一歩を開始した。

この様にして戦取された三回大会の意義を我々は次の通り確認すべきであろう。

第一に、八三年十一月以降われた、日帝の戦争遂行体制にむけた排外主義的寄せ場再編の先兵たる天皇主義右翼(西戸組)の武

装敵対・虐殺テロを、日雇全協の全国体制で、大衆的実力闘争を軸とする大衆武装陣型で、これを打ち砕き、勝利的地位を打ち固め、三回大会が獲得されていること。

第二に、天皇主義右翼との全国

闘争を要にしつつ、山谷・釜ヶ崎を両軸に、手配師・人夫出し・飯

場・求人業者層に対する春期闘争の高揚が組織され、反動的国策事務員と結びつく、山谷での「互

助組合」策動を打ち破り、釜ヶ崎での労務供給体制再編による建設

独占の支配を覆えし、労働運動の大衆的基盤が打ち固められていること。

第三に、日雇全協の全国工作任

務が、福岡支部づくりの前進として、結果し、四大寄せ場を戦略拠点として、全国の日雇・下層労働者組織化の任務を果たす橋頭堡に

に続き、福岡・築港の寄せ場で福岡支部づくりを進めている福日労(準)代表の大戸氏から力強いアピールがなされた。日雇全協国際部による渡韓報告アピールの代読を最後に午前の議事が終了。

午後からの議事は、在日高麗労働者連盟からの電報報告から再開された。そして、映画・山谷製作上映実より、佐藤さん虐殺一ヶ年の十二月二十二日に映画実戦と公開を果たす決意が述べられ、次に、船本遺稿集出版などの全協事業報

告がなされた後、議事は、三回大會方針を確認する大会基調報告に移った。今大会の特徴として、大會議案が、基調報告の形式で、その活動報告・運動方針が提起され、拍手でこれが確認された。

基調確認の後、名古屋紳仁病院闘争、十二・二二佐藤さん虐殺一ヶ年闘争の特別提起、反天皇制運動連絡会の天野氏からのあいさつ、動連絡会の天野氏からのあいさつ、最後に、三回大会の新たな組織体制が確認され、風間竜次氏の日雇全協議長再選が確認された。

敵が前面に出ている時は強いか、

敵が見えない時、全協は弱くなる。

したたかでおおらかな人民の団結を得たい」と、風間議長の三回大会の決意表明が行なわれたのに統いて、各支部代表の決意表明が述べられ、三回大会は、大会スローガンを確認し、響きわたるインターネットの声とともに勝利をもつて終了。

明朝二十四日、寿町センターで、

雨天を突き、日雇全協の全国部隊は、大会報告集会を開き、三回大会の闘いの第一歩を開始した。

この様にして戦取された三回大会の意義を我々は次の通り確認すべきであろう。

第一に、八三年十一月以降われた、日帝の戦争遂行体制にむけた排外主義的寄せ場再編の先兵たる天皇主義右翼(西戸組)の武

装敵対・虐殺テロを、日雇全協の全国体制で、大衆的実力闘争を軸とする大衆武装陣型で、これを打ち砕き、勝利的地位を打ち固め、三回大会が獲得されていること。

第二に、天皇主義右翼との全国

闘争を要にしつつ、山谷・釜ヶ崎を両軸に、手配師・人夫出し・飯

場・求人業者層に対する春期闘争の高揚が組織され、反動的国策事務員と結びつく、山谷での「互

助組合」策動を打ち破り、釜ヶ崎での労務供給体制再編による建設

独占の支配を覆えし、労働運動の大衆的基盤が打ち固められていること。

第三に、日雇全協の全国工作任

## 10・3八鹿控訴審闘争の高揚をひきつづき

## 10・28狭山中央闘争へ

十月三日、大阪高裁において、八鹿差別弾圧裁判の控訴審第一回公判闘争がたたかわれた。

八三年十一・一四の神戸地裁・荒石差別判決を糾弾し、控訴審闘争に勝利するため、正午前より、地元・兵庫を先頭に解放同盟近畿ブロックの各府県連の部隊をはじめ埼玉県連の代表、労働組合、学生解放研などが続々と結集した。また、部落解放基本法制定をかけて鹿児島から東京まで行進中の全国行進隊も合流した。

大阪高裁周辺の要所を機動隊が固めたなか、高裁当局の「旗お禁止」の弾圧をけり、荊冠旗を林立させ、午後一時より構内集会が一五〇〇名の部隊で開始された。

大西正義解放同盟中央本部副委員長（兵庫県連委員長）が、近畿ブロックを代表して主催者あいさつをおこない、麻田弁護団事務局長が弁護団メンバーを紹介し、山本弁護団長が弁護団としての決意を語った。つづいて丸尾良昭「被告」団長が「八鹿闘争は差別弾圧闘争を發展させるたたかいである。差別者集団日共と司法権力を糾弾し、完全無罪をかちとするまでたたかう」と、控訴審にあたっての「被告」団の決意を明らかにした。

「被告」団、弁護団、傍聴団を送りだし、集会は続行されたが、内容は全国行進隊の各隊の報告からはじまり、隊員個々人の報告や感想などの間に近畿ブロック各府県連の決意表明が入るという、これまでの一審・神戸地裁での公判闘争

争とうつてかわったものとなつた。法廷からの中間報告と府県連の決意表明を除く大半の時間が全国行進隊（員）の中間報告と感想にされ、公判闘争といより、さながら全国行進隊の中間総括集会といふものになつた。從来、兵庫県連主催の下での一審公判闘争では、共闘各団体のアピールも完全に保障されていたが、それもなくなつてしまつた。

差別の法規制をふくむ部落解放基本法制定要求の運動の一定の発展のなかで、「法さえあれば……」といふ空氣を、たとえそれが一部であれ、もたらしているのは事実である。大衆自らが参加し、困難な局面を団結の力で突破する生き生きとしたたたかい、自己成長をとげる大衆闘争が、大衆の手のとどかないところでの「国民運動」にとつてかわられ、大衆が動員要員へと落としこめられようとしている姿をかいまみたような集会となつた。

他方、「被告」団と弁護団は法廷内で奮闘した。事件の現場にいたかった丸尾議長（当時・八鹿高校差別教育糾弾共闘会議）を「首謀者」として「共謀共同正犯」で「有罪」にしたもの、執行猶予がついたことにあきたらぬ権力者は、日共の「厳罰」要求の声も利用し、「刑が軽い」と控訴している。差別弾圧判決に全員が控訴した「被告」団と弁護団は、大阪高検と対決し、長文の控訴趣意書をたたき

つけ、その要点の弁論をつきつぎにおこなつた。山上弁護団長、高野弁護人、丸尾「被告」団長とつづく弁論は、午後一時半開廷、二時半閉廷という大阪高裁と大阪高検による儀式的な裁判の野望をうちやぶり、四時前まで続行された。高裁当局は、札つきの暴力延更どもを使い、構内集会に対しても、旗ざお禁止、マイク禁止、集会をやめろ」と、妨害をおこなつたが、いつさい寄せつけることなくたかわれた。

高裁と高検によって裁判所の駐車場を提供してもらった日共は、政治利用してきた全解がほとんど姿をみせないなか、兵教や京教組などの差別教師どもをかき集め、事前の一五〇〇名動員のかけ声とはうらはらに、約四〇〇名が意気のあがらない「検察廳激励集会」をおこなつた。革命と大衆行動を恐怖し、「革新」を名のる日共は、「厳罰」を裁判所に哀願し、検察廳の「奮闘」をこい願う集会を行なつた。

この移転をめぐる議論は、議会を中心展開され、その内容として立てる茶番劇を演じた末に、新宿移転を賛成多数で決定した。

新宿移転をめぐる第三回定例都議会は、九月二七日までの会期を三日延長し、移転反対派議員の顔を立てる茶番劇を演じた末に、新宿①都心（千代田・中央・港）②丸ノ内再開発より、新たな行政需要を満たすための人員二千五百名をこの電算導入によってスクラップアンドビルド方式で産み出そうとしている。この議論が不充分③都税の無駄化④都税の合理化による職員減と民間委託の強行⑤職員意識の改造の五点であり、中曾根行革のお手本となるものであった。

シティ・ホール建設は「マイタウン10カ年計画」の中核をなす事業であることは都政幹部は常に明言しており、シティ・ホール建設と鈴木都政の基本骨格は不可分の関係にあることは明らかである。こうした議論は、鈴木都知事が主張に耳を傾けようとしない国家主義的な官僚の登場、そしてこれら官僚による住民情報の管理と操作、そして反対勢力の解体。我々は地方自治体における政治闘争に大きく立ち遅れている。我々は、シティ・ホール問題を情報分析左派の諸君のように、組合内活動展開は準備もされなかつた。

その政治的意義は第一に、給与と鈴木都政の基本骨格は不可分の関係にあることは明らかである。その本質を①俺が街のシンボルといふ狭い政治領域へと切り縮め、②単なる新庁舎建設という経済問題へすりかえる官僚的手法の行使は、日共の「厳罰」要求の声も利用し、「刑が軽い」と控訴している。別抗告棄却を糾弾し、第二次再審判決十一ヶ年と今春五・二八特集会がおこなわれる。十・二八か

## 「指紋押捺拒否」闘争に連帯しよう

ら十一・一二、十二・五と連動する八鹿控訴審闘争へと、狭山・八鹿を結合し、関東、関西、全国から陣型をととのえ、結集しよう。

「指紋押捺拒否」闘争に連帯しよう

一方、拒否者を中心にしてこの九月全関東規模の「外登法闘争第一期決戦・団結小屋闘争」が東大・駒場でくりひろげられ、民主の声を踏みにじりつづけてきた個別自治体に反撃を集中、千葉県習志野市では機動隊導入をはねのけて実質的な「通達返上」をかちとり、新たに法務省行動も組織された。

この闘いは一二・一〇の「国際人権デー」にむけて「怒りを法務省へ！」をスローガンに第二波の大衆行動を準備している。

在日朝鮮人の世代をこえた民族決起で、日朝鮮人の世代を同化・追放を強めようとしている。

## 都庁移転問題の本質

都庁新庁舎（シティ・ホール）

至らなかつた。

鈴木都知事は、革新都政を打倒し、知事に選出され、後、「マイタウン10カ年計画」を策定し都政改進に着手した。その基本骨格は、

①社会福祉・教育・衛生医療の切

り捨て②公共料金・手数料の引き

上げ③都市再開発による公共投資

の活性化による資本への救済策の

実施④合理化による職員減と民間

委託の強行⑤職員意識の改造の五

点であり、中曾根行革のお手本と

報にデーターが蓄積されない流動性の高い都民に対する監視の強化である。

そして、副次的な課題ではあるが、新たな行政需要を満たすための人員二千五百名をこの電算導入によつてスクラップアンドビルド方式で産み出そうとしている。

この電算導入によつて、スクラップアンドビルド方式で産み出そうとしている。

この電算導入によつて、スクラップアンドビルド方式で産み出そうとしている。

この電算導入によつて、スクラップアンドビルド方式で産み出そうとしている。

この電算導入によつて、スクラップアンドビルド方式で産み出そうとしている。

経緯をもつわが国のプロレタリアートは、このこととにとくに敏感でなければならぬ。

朝鮮に対する特別の侵略の歴史

の日帝植民地支配・戦後の米日帝の新植民地支配の結果である。彼らは、他民族抑圧を本性とする帝

國主義によって生み出され、今、新たな戦争準備の下で、生活権が破壊され差別が強められている。

一方、拒否者を中心にしてこの九月全関東規模の「外登法闘争第一期決戦・団結小屋闘争」が東大・駒場でくりひろげられ、民主の声を踏みにじりつづけてきた個別自治体に反撃を集中、千葉県習志野市では機動隊導入をはねのけて実質的な「通達返上」をかちとり、新たに法務省行動も組織された。

この闘いは一二・一〇の「国際人権デー」にむけて「怒りを法務省へ！」をスローガンに第二波の大衆行動を準備している。

在日朝鮮人の世代をこえた民族決起で、日朝鮮人の世代を同化・追放を強めようとしている。

朝鮮に対する特別の侵略の歴史

の日帝植民地支配・戦後の米日帝の新植民地支配の結果である。彼らは、他民族抑圧を本性とする帝

國主義によって生み出され、今、新たな戦争準備の下で、生活権が破壊され差別が強められている。

朝鮮に対する特別の侵略の歴史

◆古典学習  
レーニン

## 「ロシア社会民主労働党 総領草案」をめぐつて

——山本 礼一——

前回と同様、今回も「総領」そのものを取り上げるのではなく、「綱領」そして又、「一党的领导」における「綱領」の役割、といった観点から学ぶべき基本的見地を取り上げよう。

一八九八年三月、ロシア社会民主党は国内の有力な七組織のグループから九名の代表を集め党創立大会を行った。しかし、大会直後の大量逮捕により、「宣言」と「大会決定」を採択し、各地にロシア社会民主党〇〇地方委員会と名を変えたグループを残した。この「党機関をもたない党」に終止符を打ち、「党を終局的に確立し、党の綱領を作成し、その公式機関紙を復刊する」ための第二回党大会は、一九〇三年七月、二十六組織を代

表する五十一票の決定権をもつ四十三名の代議員で開催された。

ここで取り上げるのは、この第二回党大会で採択された「ロシア社会民主労働党綱領」獲得をめざしたレーニンのその間の綱領観である。

一八九八年十月、第一回大会で

『いま国際社会主義派は、思想上の動搖を経験している。これまで、マルクスとエンゲルスの学説は、革命的理論の堅固な基礎とみなされてきたが、いまや、この学説は不十分で、古くなつた

という声が、あらゆる方面からある

黨の正式機関紙として承認された「ラボーチヤヤ・ガゼータ」への論文「われわれの綱領」から見てみよう。

一八九九年十月、第一回大会で

主労党が創立され、この党がごくま近い将来に党綱領を作成するというその意向を声明したことは、二回党大会で採択された「ロシア社会民主労働党綱領」獲得をめざしたレーニンのその間の綱領観である。

主労党が創立され、この党がごくま近い将来に党綱領を作成するというその意向を声明したことは、二回党大会で採択された「ロシア社会民主労働党綱領」獲得をめざしたレーニンのその間の綱領観である。

主労党が創立され、この党がごくま近い将来に党綱領を作成する

よう。

『二八九八年の春にロシア社会民

主労党が創立され、この党がごくま近い将来に党綱領を作成する

よう。

主労党が創立され、この党がごくま近い将来に党綱領を作成する

よう。</